

美しい箱根を守ろう 環境先進観光地—箱根 第52回美化大会

8月7日、湯本小学校屋内運動場で、環境先進観光地—箱根第52回美化大会が開催されました。

大会には、地元自治会や小中学生、高校生、湯本女性会、町観光美化パトロール隊など約340人が参加しました。

日頃観光美化に功績のあった方に感謝状が町長から授与された他、来賓の祝辞、箱根ライオンズクラブから町への緑化推進用の苗木の寄贈も行われました。

また、今年で45回目を迎えた観光美化・自然愛護標語、作文、ポスターコンクールには、町内の小・中学校7校から標語の部に37点、作文の部に491点、ポスターの部に538点の応募があり、各学年の1等入賞者に賞状と記念品が町長から授与されました。その中から、作文の部を代表し、瀬上来翔君（仙石原小6年）、水島和香さん（函



啓発用ポスターに採用された坂本観菜さんの作品

嶺白百合学園中1年）が、それぞれ作品を発表しました。なお、この日を中心に町内の自治会をはじめ、各種団体の皆さんにより、清掃作業が行われました。

「箱根を大切に美しくする」貢献者表彰受賞者（敬称略）

◎箱根町湯本女性会

◎吉川 秋男（湯本茶屋）

◎観光美化・自然愛護標語、作文、ポスターコンクール1等入賞者（敬称略）

◎標語・作文の部

◎福住 維人（湯本小1年）

「うみひろい

やまがきらきら

かわもきらきら

いいきもち」

◎長谷川夏希（湯本小2年）

◎山田 望（恵明学園小3年）

◎中村 帆希（箱根の森小4年）

◎菊川 空翔（湯本小5年）

◎瀬上 来翔（仙石原小6年）

◎水島 和香

（函嶺白百合学園中1年）

◎辻村 優貴

（函嶺白百合学園中2年）

◎小嶋 深月

（函嶺白百合学園中3年）

◎ポスターの部

◎岩澤 葵（仙石原小1年）

◎藤井愛結美（恵明学園小2年）

◎半田 乙羽（仙石原小3年）

◎伊藤 由萌（湯本小4年）

◎藤井明珠美（恵明学園小5年）

◎山田紗莉奈（恵明学園小6年）

◎坂本 観菜（箱根中1年）

◎木村知奈瀬（箱根中2年）

◎鈴木 真奈（箱根中3年）

多くの箱根一人旅

仙石原小学校6年

瀬上来翔



ぼくは、三年生のころから、一ヶ月に一回ほど、一人で箱根めぐりをしていました。友達や親から「また行くの?」「あきないの?」と聞かれますが、全然あきることはありません。それどころか、毎回一人旅で、新しい発見があり、「箱根っていいところなんだな。」と改めて感じることもあります。

その一つが「箱根には見所が多い」ということです。仙石原だけでも、おしゃれな美術館やすずき野原などの美しい自然があります。他にも箱根全山では、歴史を感じる関所や旧街道、荒々しい大涌谷や気持ちいい温泉、おいしい名物料理やわくわくするお土産屋などもあります。その中でも、ぼくが一番おすすめの見所は、乗り物から見る景色です。

まずは、バスです。大平台駅から出山の間のヘアピンカーブは、バスが倒れてしまうのではないかと心配になりますが、ゆっくりと大きくカーブを曲がるので、山の新緑や、鮮やかに咲いている花がきれいに見えます。ドキドキ感と自然の美しさが合わさっていて最高です。

また、湯本に新しく「さくら橋」と「もみじ橋」が開通して通れるようになったところもおすすめです。なぜなら、函嶺洞門を横から見ることができるようです。今までは、通ることしかできなかった歴史ある函嶺洞門の全体を見ることができるよう、最高です。

ロープウェイからの景色も最高です。風がふくと「ビュービュー」と音を出しながら左右に大きくゆれますが、風という自然を感じる事ができます。また、下を見ると白い煙を出している大涌谷が見え、遠くを見ると世界遺産になった富士山をながめることができます。この迫力は、ロープウェイに乗った人にしか味わえない素晴らしいです。

ら、ゴミ袋いっぱいゴミをひろっている人達を見つけた。道も細くガタガタで危ない所です。一生けん命が張っている姿を見て、つかれていながらも、きれいな箱根を守りたいという熱い気持ちで伝わってきました。私は、箱根を「自然豊かで良かった」「また来たい」とか思える町にしたいと思っていますからだと、思い、拾っていたのかと思いましたが、そのボランティアの方の気持ちに少しわかる気がしました。その行いは、小さな事かもしれませんが、それが実際にやってみようとするとなかなか行動にうつせません。だから私は、感激すると共にとても勇気のある行動だと思えました。私もそのボランティアの方のように、箱根を自然豊かにするために何かできる事はないかと考えました。

また、箱根に旅行に来た方々に「ここにきて良かったなあ」（自然も建物も美しくまた来たような箱根になるために、いつも「おもてなしの心」を持って過ごしていきたいです。私は、箱根が大好きです。その箱根を守るために、どんな小さな事でも自分のできることをしていきたいです。

きているそうです。大涌谷もその後大規模な噴火の後にできています。私たちが生まれるはるか昔に出き上がった箱根の自然は、長い年月を経て現在も私たちを楽しませてくれていています。自然の悠久さに思いをはせ、忙しい生活をはなれてゆっくりと過ごせることも箱根のみ力なのだと思います。国内外からたくさんの方々が箱根を訪れ楽しんでくれたらうれしいです。

他にも、箱根にはめずらしい植物や動物などがたくさん生息しています。でも、森林が伐採されたり、お染されると動物達はえさとなる植物が減少するため、生活がしにくくなってしまいかもしれません。それに、箱根には歴史ある建物がたくさんあります。歴史文化を守り自然と共に生ずる町、箱根がこのような事にならないためには、観光客の方に、ゴミはポイ捨てしないでゴミ箱に捨てましょうとか、文化財や自然を大切にしてくださいとかをポスターや看板などで一人でも多くの方々がその気になれるように、呼びかけをしていく事も大切だと思います。

しかし、悲しい事があることも事実です。電車内で飲み終えた空きカンのゴミやおかしの袋がそのまま置きっぱなしになっていたり、道ばたに食べカスやティッシュのクズなどが落ちています。このままだったら箱根はごみの山になってしまいます。そう思うと不安になってきました。でもみんながポイ捨てをしている訳ではありません。

ある時、私が車に乗っていた

ある時、私が車に乗っていた

ある時、私が車に乗っていた

おすすめの箱根の観光スポットを観光客に教えてあげています。そうすると、「ありがとう。」と、観光客が喜んでくれるので、ぼくも嬉しくなります。それが、ぼくの一人旅の楽しみでもあります。

ぼくは、箱根町が大好きです。だから、これからも箱根一人旅を続けるつもりです。そして、大人になったら、バスや電車など箱根の乗り物に関係する仕事について、観光客を案内したり、楽しませたりしたいと思っています。

私の大好きな箱根

函嶺白百合学園中学校1年 水島和香

箱根の山もだんだんと葉がしげり、若葉の季節になりました。私が通っている学校がある箱根町は、友達に自まんできるくらい自然豊かです。毎日乗っている箱根登山電車の窓からは、一年を通してたくさんの自然にふれる事ができます。

春は満開のサクラ、夏は生き生きと咲いているあじさい、秋は木の葉が緑からだんだんと赤や黄に変わる紅葉、冬は雪が降り積もり辺り一面が銀世界になった雪景色、美しく思わず「すごい」「きれい。」と声をあげてしまいます。こんな電車に乗

登山電車から見る色鮮やかなあじさいや、来た道をもどるスリッチバックも一度は見てほしい乗り物からのおすすめの景色です。

そして、何より一人旅で感じる箱根のよさが、「人との出会い」です。学校でもてなしの心について学んだので、バスや電車、ロープウェイでは、一緒に座る観光客とあいさつをして、お話するように心がけています。ぼくが箱根の子どもだと話すと、「うらやましいわ。」と、よく言ってくれます。だから、ぼくは、

